



ザ・ヨツヤリポート

Vol. 55

編集・発行
ヨツヤウレタン株式会社
東京都新宿区中落合2-11-3
www.yotsuya.co.jp
Tel (03) 3954-2611

塩浜第二住宅で 防水改修を四棟

ヨツヤウレタンは十二月末に、管理組合から十二号棟他三棟の防水工事を受注し、三月下旬の工期で鋭意施工中です。工事内容は過去三回も受注した仕様で今回も踏襲した内容です。屋上はモルタル表面の劣化部を高圧水で除去し、樹脂モルタルで平滑化させ、更に既存伸縮目地は脱気処理してからウレタン防水の、通気緩衝仕様で、四ミリ厚で実施、ルーフバルコニーは密



着工法ウレタン三ミリ厚でトップコート防漏仕上げを行った。ルーフバルコニーでは各戸で物置設置が一般化し利用されていたり、床に人工芝が貼られていて、工事のために移動や撤去したりで思わぬ不評が惹起し、施工者も戸惑う場面が何度か経験させられた。間もなく完成させるよう奮闘中です。住民各位からは大変なご協力を仰ぎながら施工しております感謝の限りです。施工は新井武夫が担当しました。

MS記

リナス池上マンション 大規模改修を完成

ヨツヤウレタンはオガタクリエートの担当した表題工事で、防水工事、外壁浮き部エポキシ注入、外壁塗装に微弾性ウレタン塗り、廊下に塩ビ防漏シート貼り、各所金属部塗装、サッシュ廻りシーリング打替え等の、施工を担当しました。工事は配管取替えや、エレベーター機械取替えを含む五ヶ月に及ぶ工事であった。作業足場の組み立てから、撤去その後の防水



処理等々で各職方の着工順番調整が大変な改修工事であった。外壁関係で一段落した後は安堵できた工事であった。今回新技術として、鳩防止の特製金具を出窓屋根などに取り付けましたが、鳩の糞害に悩む都会では、将来的に必需の物になることでしょう。最後は階段床材貼りで完成でした。元請けの細やかな配慮に感謝いたします。現場代理人は小林正秋が担当しました。 都記

日東工業の 屋上防水改修

ヨツヤウレタンは十一月末に表題工事を長屋工務店から受注し、十二月二十日に無事完工した。当工事は屋上アスファルトの保護モルタル仕上げ、立面は露出アスファルト仕様であった。露出アスファルトは剥がし撤去し、下地を樹脂モルタルで調整した。平場部は在来伸縮目地を撤去し脱気目地に処置し、モルタル表面の劣化部をサンダー処理した。下地調整の後に改修防水として、立面部はロバストコートWI三ミリ厚に施工、平場部はロバストコートFの三ミリ厚のノンスリップトップコートで仕上げを行った。外装のアルミ板取り合部やサッシュ周りのシーリング打ち替えも変性シリコンで実施した。当改修で風雨には安心できる建物と変身した次第です。当社は岩瀬総将でした。 都記

新宿旧淀橋小が変身

ヨツヤウレタンが新宿区より十二月に受注していた旧淀橋第三小学校屋上防水改修工事は二月中旬に完成した。新宿区では遊休資産の有効利用で、賃貸することになり、経年で漏水している建物の改修となつた次第です。屋上は既存仕上げモルタルが剥離し浮き上がっている箇所を、撤去し補修復元した後、在来伸縮目地を脱気目地に変える処置をした。その後ウレタン防水の緩衝防水工法としてサラセーヌXIを施工した。



パラペットはフエンス改修を行った後にウレタン密着工法X2仕様を施工、同じ仕様で低層部施設の屋根部も防水施工した。屋上防水工事期間中にはテナントも決まり校舎内部の耐震改修も実施されている。当改修工事の完了後は芸団協の経営で新人芸人の養成学校がスタートされるとの事。学校の変身振りに大いに驚いた次第であった。近い将来に当養成学校の卒業生がマスコミにデビューされるのが楽しみとは、工事の担当吉嶋敏雄の弁でした。 四家記

文化センター完成間近

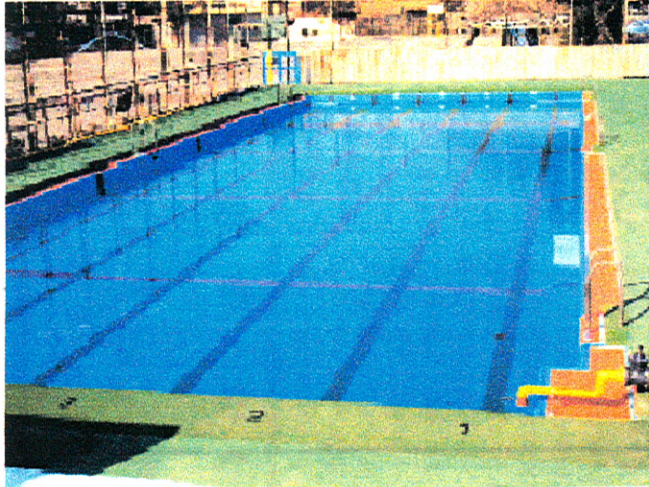
大成外六社共同企業体が建設中の兵庫県立の芸術文化センターは建物全容が見えるようになってきた。昨年6月から着手したヨツヤウレタンの防水施工も最後の追い込み中です。地下水槽に始まり、内部各所の防水、最終ラウンドとしては屋根関係の防水に夢中で取り掛かっている状況です。長期間の出張作業従事者の為、心理的に疲労感が出てきた技能士たちは、三月末の完工が待ち遠しいと叫んでいる状況です。現場代理人は四家昭雄、安全管理者千葉正一郎が対応しています。 MS記



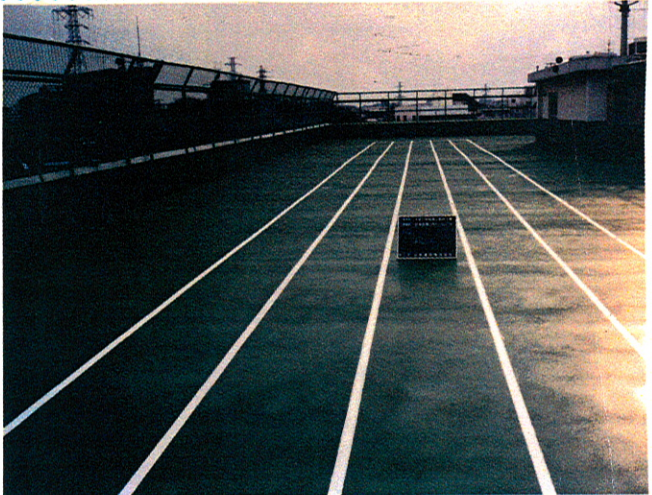
沼袋小プール
を塩ビシート防水

中野区の地元業者であるトータル建設(株)から、ヨツヤウレタンは表題工事を受注した。工期は三月中旬で、工事内容は経年で劣化した旧シートを撤去して、新規に塩ビシートのサンロイド防水を行う工事でした。在来のシート取り付け用の塩ビ鋼板等も全て撤去し、新品のプールが短工期で完成しました。

今回使用した筒中シート防水のサンロイド防水機械固定工法は、下地が濡れていても施工出来るので、冬場の乾燥が難しい時期でも予定通りの作業が可能なのです。当役所の公立学校では殆どが当工法が採用されておる現状です。大型地震時にもプールの水は確保されていた阪神淡路地震の例がありました。この機能が必要になら無い事を期待し、作業は小野が担当しました。四家記



杉並区大宮小の屋上を改修防水



昨年十一月地元の老舗広拓建設から、表題工事を受注し。二月下旬に完工した。当工事は、屋上の在来フェンスのネット取替え、フェンス支柱等の塗り替えをしつつ、既存ウレタン面にオーバレー防水を行う仕様であった。ウレタン工事に先立って、パラペット関係の浮き部注入処理や、床の伸縮目地の脱気処理、床の不陸調整を行った後に、全体をサンダー研磨で旧塗膜の劣化表面部の除去を行った。床部は塗り継ぎプライマー処理後に、歩行用防水のロバストコートSG厚四mmを実施して、最後にラインを描いた。立面部はロバストコートW厚二、五mmで施工した。長期の経年で不陸発生や局所の傷みが生じていたものの、堅固なウレタン舗装防水材で、同時に仕様を決めた担当者に敬意を表しますと、今回の現場代理人千葉が申しています。

高橋 記

中野本郷小でも外壁屋上改修

中野区の新築建設(株)からヨツヤウレタンは中野本郷小学校の防水改修工事を下命受け、二月末日の工期で完成した。当工事では外壁に弾性防水化粧材塗装を以って施工したり、サッシュ周りのシーリング打ち替えも行った。屋根防水は在来ウレタンにオーバレーする仕様なので、新たに既存床に脱気型の伸縮目地を新設した。立面部に十三個の脱気筒を設

置して下地の乾燥維持の対策を施した。これらの下地処理の後に、在来ウレタン面をサンダー研磨して新規ウレタンはロバストコートFを三mm厚に施工、スポーツ用のトップコート吹き付けを実施、スポーツライン描きも行った。立面部はウレタン防水はロバストコートWの三mm厚仕様で実施した。元請の伊藤様には多くの指導を頂きました。工事担当小林記



パキスタンで
テニスコート改修

在イスラマバードの日本国大使館で、以前当社が施工した人工芝コートが傷んだ為十五年目で改修することになり、S Vに千葉正春を派遣し、現地人を使って施工を行った。

日本から輸出したポリプロピレン系の芝丈十九mmでライン埋め込みのコーティングで、芝に充填する砂は現地で採集する天然材を利用する前回と同じ仕様の工事です。今回は既に旧コートに使った砂があるので、今回洗浄して汚れを除去したものを再使用する省資源化の計画で実施する工事でした。工事期間は三月十四日(三月二十五日)予定で実施しました。工事の完成後は、以前同様に外交の場として利用されると認識し、意欲が湧きました。各国の外交官と国際親善が更に深まることを祈念させる案件でした。元請けは飛鳥建設でした。

MS記

責任ある工事は専門業者で

ウレタン防水
ロバストコート
屋根及び外壁

塩ビシート防水
サンロイドDN
プール防水

ゴムチップ弾性舗装
ロバストペープ
学校グラウンド及びテニスコート

ウレタン弾性舗装
ロバスタン
屋上運動場

アメニティへの貢献 ヨツヤウレタン株式会社